



「知への初々しい憧れと畏敬の念」

～子どもの学びを支える教師力・学校力の強化～

校長通信第88号

令和4年9月12日

【ゲストティーチャーによる授業】

感染対策をしながらではありますが、以前よりもゲストティーチャーによる授業を実施することができるようになってきました。授業の質を考えると、うれしいものです。先週行われたゲストティーチャーによる授業をご報告します。

【租税教室 6年生】

9月10日（土）に、東京税理士会蒲田支部の税理士の先生を招聘し、租税教室を開いてくださいました。クラス毎に授業をしてくださり、3回も同じことを一人でやってくださったのです。誠に感謝です。

はじめに、税がない世界と税のある世界を比較したアニメを視聴しました。税のある世界はみんなで助け合う世界でした。火事が起これば消防車が駆け付け消火に当たっていました。税のない世界では、誰もが身勝手に、道路を歩くにも管理代を請求されていました。警察に道を尋ねるにも200円を請求される始末。講師の先生からどちらの世界がよいかを問われた子どもたちは「税のある世界」と答えました。

その後、後進の先生から、税の大切さのまとめのお話がありました。将来、納税者となる子どもたち。税の大切さ理解し、市民性のある人間に育ててほしいと思います。



【人権教室 6年生】

9月8日（木）に、大田区人権擁護委員で精神科医の先生にご来校いただき、6年生の人権教室を開催しました。テーマは多様性でした。様々な考えがあっていい、考えの違う子がいていいし、相手の立場に立って考えることの大切さを学びました。講師の先生は、働きアリや三年寝太郎の話为例に進めてくださり、難しい話を分かりやすく教えてくださいました。国ではギフティッドの課題も出てきています。ダイバーシティ糶谷を目指したいと思います。

